

**ゼノアハンマナイフモア**

# ZHM1550RR AF1550RR

## 取扱説明書

適用号機: #162001 以降



レンタルとして本機を貸し出し、借り受けする場合は、必ずこの取扱説明書の本機とともに受け渡してください。



### 警告

この機械を不適切に使用すると、重傷もしくは死亡に至ることがあります。オペレータおよび整備担当者は、この取扱説明書を必ず読んで内容を理解してから、当機械を運転・点検・整備してください。取扱説明書は、この機械にたずさわる全てのオペレータおよび整備担当者の参考のために、機械の収納スペースに保管して定期的に読めるようにしてください。

●トラクタの取扱は、ゼノアハンマナイフモア ZHM1550 の取扱説明書をご参照ください。



# 本書について

本書は、ZHM1550RR(刈刃軸正逆回転切換式ハンマナイフモア)および、AF1550RR(刈刃軸正逆回転切換式作業機)を安全に、効果的にご使用いただくためのガイドブックです。  
当製品をご使用いただく前に、必ず本書とZHM1550 取扱説明書を読み、運転・点検・整備を十分理解され、自分のものとした上で、ご使用くださいますようお願いいたします。  
本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

## ⚠ 警告

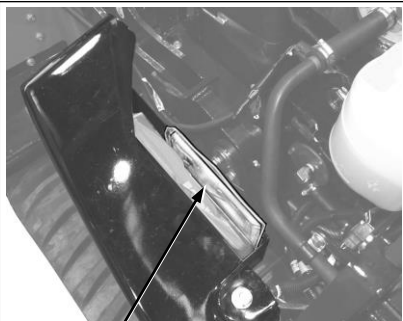
この機械を不用意に使用すると、重傷もしくは死亡に至ることがあります。

運転者および保守要員の方は、この機械の操作または保守を行う前に本書とZHM1550 取扱説明書をよく読んでください。

本書は、便覧として指定の場所(下図の位置)に保管し、機械を扱う全職員の方が定期的に見るようにしてください。

- 本書とZHM1550 取扱説明書の説明が完全に自分の物となるまでは当製品をご使用にならないでください。
- 常に本書を手元に保管し、繰り返し読んでください。
- レンタルとして本機を貸し出し、借り受けする場合は、必ずこの取扱説明書を機械とともに受け渡してください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに当社または当社販売サービス店に発注してください。
- 当製品を譲渡されるときは、次の所有者に、本書を必ず添付し譲渡してください。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については、当社または当社販売サービス店へお問い合わせください。
- 安全について、Ⅱページ『安全に機械をご使用いただくために』およびⅡページから安全項目について説明してあります。
- 本書では、計量単位を国際単位系(SI)で表示しております。参考として従来使用しておりました重力単位系を{ }で表示しております。

## ● 収納場所



取扱説明書(ケース入)

作業をするときは、本書を必ず携帯してください。  
本書はZHM1550の取扱説明書といっしょに収納してください。

左サイドカバー前方の内側に収納ホルダがあります。




その際、本書を濡らしたり、汚したりしないように、必ずケースに入れて収納してください。

# —安全に機械をご使用いただくために—

安全に機械をご使用いただくために、本書および本機に貼り付けてある安全標識を使って、予想される危険の内容や回避方法の説明を行っております。


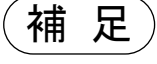
## シグナルワードについて

以下のシグナルワードは、人身事故につながる危険があることを知らせるものです。本機および本書では、予想される危険の大きさに従って、シグナルワードを下記の通り使い分けております。

 <b>危険</b>	死亡または重大な傷害を招く切迫した危険を表すものです。
 <b>警告</b>	死亡または重大な傷害を招くことがあり得る潜在的な危険を表すものです。
 <b>注意</b>	軽度のまたは中程度の傷害、または機械の重大な破損を招くかもしれない潜在的な危険を表すものです。

### その他のシグナルワード

上記のシグナルワードの他に、機械のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを次の表示で記載しております。

 <b>重要</b>	誤った取り扱いをした場合、機械の損傷または寿命を短くする可能性を示します。
 <b>補足</b>	知っておくと便利な情報です。

安全項目について、2 ページから説明してあります。

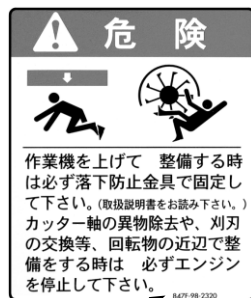
## 安全ラベルについて

運転・点検整備に伴う危険の存在を関係者にその場で知らせるために、本機の各所に安全ラベルを用いています。

本機では、安全ラベルとして、「言葉による安全ラベル」と「絵による安全ラベル」を採用しております。

### 言葉による安全ラベルの例

言葉による安全ラベルは、オペレータや整備担当者に確実に危険の存在と内容を理解していただくため、言葉を用いています。



品番

### 絵による安全ラベルの例

絵による安全ラベルは、シグナルワードに相当する危険を知らせるものです。これらの安全ラベルでは、オペレータや整備担当者に瞬時に危険の存在と内容を理解していただくため、絵を用いています。

絵による安全ラベルでは、危険の内容を上または左側に、危険を回避する方法を下または右側に配置しております。また危険の内容を△の中に表示し、危険の回避方法を○の中○表示しています。

(本機では、(社)日本建設機械工業会の趣旨に賛同し、同工業会策定の絵による統一安全ラベルを採用しております。)



品番

お客様が本機を使用する際のあらゆる状況を全て予想することは、当社ではできません。そのため本書ならび本機に表示されている注意事項は、安全に関する事柄をすべて網羅したものではありません。

したがって、本書に書かれていない状況で運転操作や点検整備を行う場合は、安全に関する必要な対応は全てお客様ご自身の責任でお考えください。

なお、その場合も、本書で禁止されている作業や操作は絶対に行わないでください。

本書の説明、数値およびイラストなどは、本書を作成した時点での情報に基づいております。製品の不断の改良により、本書の内容と本機の仕様が一部異なる場合があります。ご不明な点やお気づきの点がございましたら、当社販売サービス代理店にお問い合わせください。

# 本機の概要

## 1. 指定作業

当製品は、主に次の作業にご使用ください。

- 草刈作業

作業要領の詳細は、ZHM1550 取扱説明書『取扱編』を参照してください。

## 2. 本機の特徴

当製品は、ゼノアハンマナイフモア ZHM1550 の特徴に加えて、以下の特徴があります。

- 回転切換ギアボックスの搭載により、刈刃軸の回転方向を任意に切換え可能です。
- 飛散物低減のためのガード・カバーを作業機とトラクタに装備しています。

## 3. ならし運転

当製品は、十分な調整検査の上出荷されていますが、はじめから無理な使い方をすると、機能を早く低下させ、寿命を短くしますので、ならし運転をしてください。

特に次の点に注意してならし運転を行ってください。

- 始動後 2 分間エンジンをアイドリングし、暖機運転をしてください。
- 刈刃クラッチレバー「入」後、3 分間エンジンをアイドリングし、回転切換ギアボックスの暖気運転をしてください。
- 重負荷や高速での作業はさけてください。
- 急発進、急加速、不必要な急停止や急激な方向転換はさけてください。
- 初めの 50 時間はエンジン回転数を無負荷時 2900rpm までの作業でならし運転してください。

本書に示されている運転操作、整備、安全に関する注意事項は、当製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書に書かれていない使用目的に使用する場合の安全に対する配慮は、すべてお客様の責任でお考えください。

ただし、本書で禁止されている作業は、絶対に行ってはいけません。

# 目次

## 安全ラベル

- 安全ラベルの貼り付け位置 .....2
- 安全ラベル一覧と内容 .....3

## 基本的注意事項

- ルールを守る .....5
- 異常に気が付いた場合 .....5
- きちんとした服装と、保護具の着用...5
- やけど防止 .....6
- アタッチメント・オプションに  
関する注意 .....6
- 機械の改造は禁止 .....6

## 運転に関する注意事項

- 作業開始時の注意 .....7

## 整備に関する注意事項

- 点検・整備はエンジン停止 .....8
- 関係者以外の立ち入り禁止 .....8
- 廃棄物処理時の注意 .....8

## 各部の名称

- 各部の名称 .....9
- 回転切換ギアボックスの説明 .....9

## 運転操作

- 刈刃軸回転方向切換え .....10
- フローティング操作 .....12

## 整備情報

- 整備上の注意 ..... 13
- 整備の基本的内容 ..... 15
- 補給油の種類別 ..... 15
- トルクー一覧表 ..... 16

## 点検整備一覧表

- 定期点検 ..... 17
- 新車点検 ..... 17
  - 初めの  
50 時間目のみの点検整備 ..... 17

## 点検・整備要領

- ギヤオイルの点検・整備 ..... 18
  - ギヤオイルの油糧点検・補給... 19
  - ギヤオイルの交換 ..... 20
- V ベルトの点検・整備 ..... 21
  - V ベルトの張り  
点検・調整・交換 ..... 22
  - 刈刃クラッチの点検・整備 ..... 24
- フローティング機構の点検・整備 ..... 25
  - ガイドローラ軸の給脂 ..... 26
  - ガイドローラキャスターの給脂... 26
- ガード・カバー類の損傷点検・整備... 27

仕様 ..... 28

付属品 ..... 29

サービスについて ..... 29

外観図 ..... 30

## 警告

すべての安全注意事項を読んで守ってください。  
そうしないと重大なケガや死亡事故に結びつきます。

# 安全ラベル

⚠ 警告 これらの安全事項を守らないと事故に結びつきます

本機に使用されている安全ラベルを以下に紹介します。トラクタの安全ラベルにつきましては、ZHM1550 取扱説明書 1-2「安全ラベル」をご参照ください。

- ・ 安全ラベルの正確な位置およびそこに示されている危険や危険回避の方法について十分に理解してください。
- ・ 安全ラベルは、内容がわかるようにいつもきれいにしておいてください。安全ラベルがはがれる恐れがありますので清掃には有機溶剤やガソリンを使用しないでください。
- ・ 安全ラベルを損傷・紛失または判別できなくなった場合は、新品と交換してください。安全ラベルの品番は本書または実物で確認し、当社販売サービス代理店に注文してください。
- ・ 本機には安全ラベル以外にもラベルがありますので、同様に取り扱いってください。


## ■ 安全ラベルの貼り付け位置





■ 安全ラベル一覧と内容

No.		
①	ラベル内容	<p style="text-align: center;"><b>注意</b></p> <p>警告！：本機の運転、点検、整備、輸送などの前に取扱説明書を必ずお読みください。</p> <p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 V ベルトの点検整備等を行う時は、刈刃軸及び V ベルトが完全に停止している事を確認してから実施ください。 ※刈刃クラッチレバーを『切』にしてもすぐには止まりません。(『切』にしてから約 3 分程度で停止します) ※回転停止直前時は刈刃とホルダが当たるので、この干渉音でも停止の確認が可能です。</p> <p style="text-align: center;"><b>警告</b></p> <p style="text-align: center;">高温のオイルに注意</p> <p style="text-align: center;">刈刃回転方向切替時</p>
		577802301
ラベル		 <p>ギヤオイル SAE#90 容量 300cc</p> <p><b>警告</b> 高温のオイルに注意 高温のオイルの吹き出しを防ぐために ●エンジン停止してください。 ●刈刃クラッチを切ってください。 ●油温が下がるまで待ってください。</p> <p><b>警告</b> 刈刃回転方向切替時には ●エンジンを停止してください。 ●刈刃クラッチを切ってください。 ●刈刃の回転が停止していることを確認してください。</p>

No.	ラベル内容	ラベル
②	<p style="text-align: center;"><b>危険</b></p> <p>作業機部の作業</p>	<p style="text-align: center;">847F-98-2320</p>  <p><b>危険</b></p> <p>作業機を上げて 整備する時は必ず落下防止金具で固定して下さい。(取扱説明書をお読み下さい。) カッター軸の異物除去や、刈刃の交換等、回転物の近辺で整備をする時は 必ずエンジンを停止して下さい。</p> <p style="text-align: right;">847F-98-2320</p>

No.	ラベル内容	ラベル
③	<p style="text-align: center;"><b>注意</b></p> <p>ベルトなどの回転部分に巻き込まれ、けがをする恐れがあります。Vベルトの点検整備を行う時は、刈刃軸及びVベルトが完全に停止している事を確認してから実施ください。</p> <p>※刈刃クランチレバーを『切』にしてもすぐには止まりません。(『切』してから約3分程度で停止します)</p> <p>※回転停止直前時は刈刃とホルダが当たるので、この干渉音でも停止の確認が可能です。</p>	<p style="text-align: center;">ラベル 21U-98-31180</p>  <p style="text-align: center;">21U-98-31180</p>
④	<p style="text-align: center;"><b>危険</b></p> <p>フロントガードを外さない</p>	<p style="text-align: center;">847F-98-1410</p>  <p style="text-align: center;">847-98-1410</p>
⑤	<p style="text-align: center;"><b>注意</b></p> <p>前方注意</p>	<p style="text-align: center;">847F-98-2310</p>  <p style="text-align: center;">847F-98-2310</p>
⑥	<p style="text-align: center;"><b>注意</b></p> <p>作業機ストップの取り扱い</p>	<p style="text-align: center;">T5101-98220</p>  <p style="text-align: center;">T5101-98220</p>

# 基本的注意事項 警告 これらの安全事項を守らないと事故に結びつきます

## ■ ルールを守る

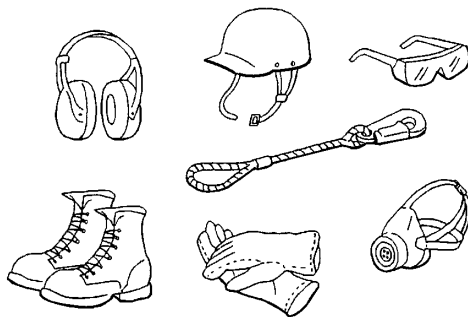
- 機械の運転または点検・整備を行うときは、本書の安全に関する注意事項、並びに手順などをすべて守ってください。
- 本製品は高速で作動する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせてください。
- 共同作業をするときや誘導員を置く場合は、作業内容を十分に打ち合わせ、定められた合図に基づいて作業してください。

## ■ 異常に気が付いた場合

運転中または点検・整備中に、機械の異常（音・振動・におい・計器の狂い・煙・油漏れおよび警報装置やモニタでの異常表示など）に気が付いたときは、直ちに責任者に報告し適切な処置を行ってください。  
異常が取り除かれるまでは、運転しないでください。

## ■ きちんとした服装と、保護具の着用

- だぶつく服、装飾品などは操作レバーまたは突起部に引っ掛かると危険ですので、着用しないでください。
- ヘルメットからはみ出す長い髪は、機械に巻き込まれる危険がありますので、結んで巻き込まれないようにしてください。
- ヘルメット・安全靴は、必ず着用してください。作業内容によっては保護めがね・マスク・手袋・防音具・安全帯などの保護具を着用してください。
- 各保護具は使用前に機能を確認してください。



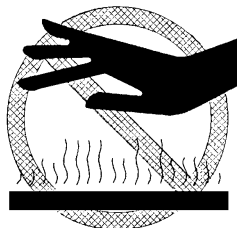
## ■ やけど防止

### ● やけど防止

回転切換ギアボックスとその周囲は大変高温になります。回転方向を切換える場合はエンジンを停止し、しばらく経ってから手袋などを着用のうえ、実施してください。

### ● 高温のオイル

高温オイルの噴き出しや高温部品への接触によるやけどを防止するためにオイルを点検・排出する場合は、キャップ・プラグが素手で触れる程度に冷えていることを確認してからキャップ・プラグをゆっくりとゆるめ、内圧を解放してからキャップ・プラグを取り外してください。



## ■ アタッチメント・オプションに関する注意

- 本 作業機は ZHM1550 専用となっています。ZHM1550 以外には取付けないでください。
- ZHM1550 取扱説明書と本書を必ずお読みください。

## ■ 機械の改造は禁止

改造は、安全上の問題となることがありますので事前に当社販売サービス代理店に相談してください。

- 当社の了解なく、行われた改造に起因する人身事故・故障・物的損害についての責任は負いません。

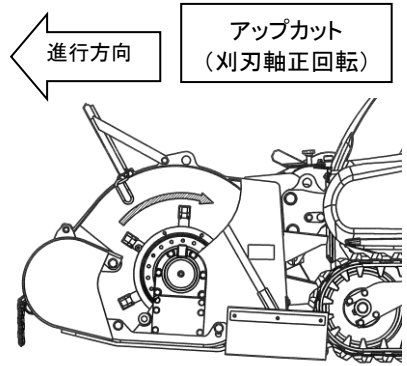
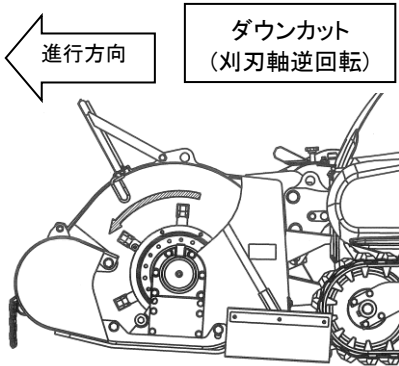
# 運転に関する注意事項



これらの安全事項を守らないと  
事故に結びつきます

## ■ 作業開始時の注意

- 本製品においてダウンカットとした場合、前方への飛散物は少なくなります。作業は周囲に人や車等がないことを確認し、石や空き缶などの異物を取り除いてから行ってください。  
また、現場と周囲の状況に応じて防護板等による飛散物防止処置を行ってください。
- 現場と周囲の状況に合わせて刈刃軸回転方向を切換えてご使用ください。



# 整備に関する注意事項

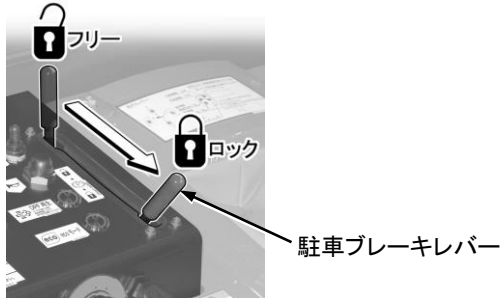
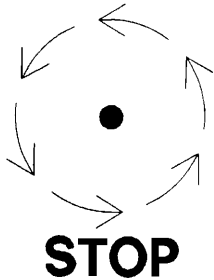


警告

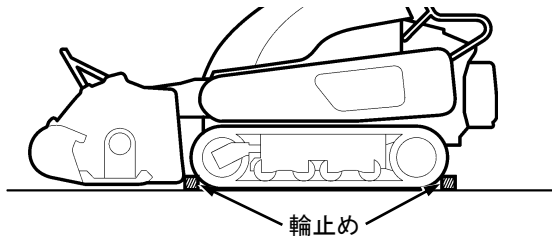
これらの安全事項を守らないと  
事故に結びつきます

## ■ 点検・整備はエンジン停止

- 水平で地盤の堅い場所を選んで停止してください。
- 土砂崩壊、落石、水没の恐れのないところを選んでください。
- 作業機を地面に接地させてください。
- 操作レバーを中立にし、駐車ブレーキレバーをロックしてからエンジンを停止してください。



- 履帯が動かないように、輪止めをしてください。



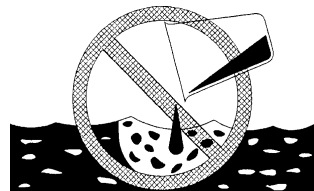
## ■ 関係者以外の立ち入り禁止

機械の整備中は、必要な作業員以外を近づけないでください。  
また、必要に応じて監視員を置いてください。

## ■ 廃棄物処理時の注意

環境汚染を防ぐため、廃棄物の処理については、十分注意してください。

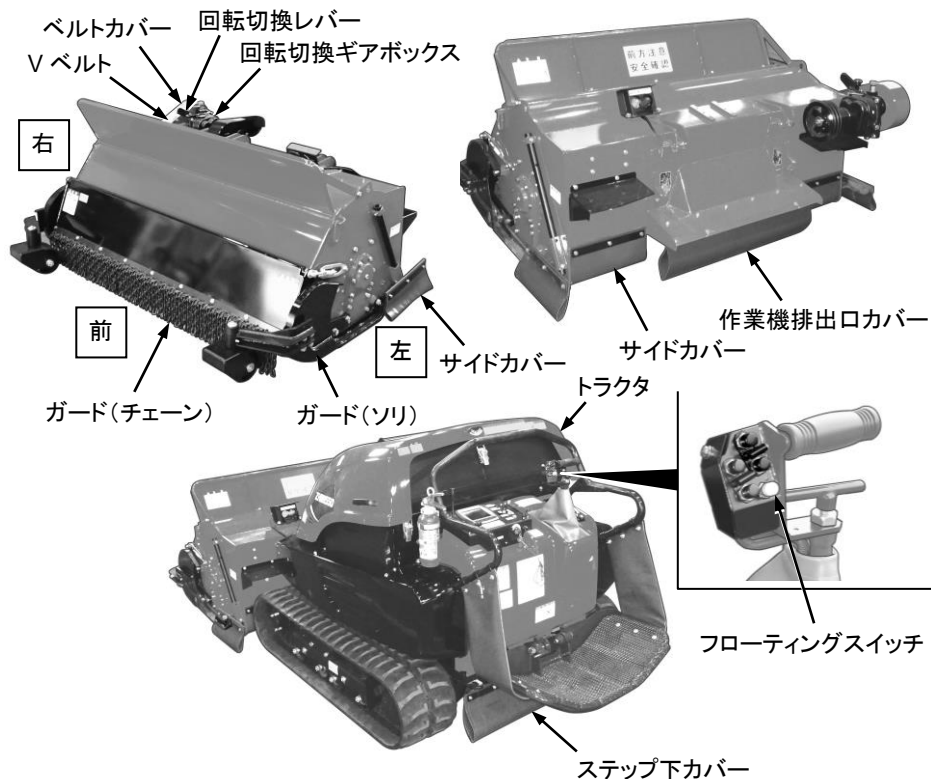
- 廃液は必ず缶・タンクなどの容器に排出してください。絶対に地面にたれ流したり、川、下水、海、湖に廃棄しないでください。
- オイル・燃料・冷却水・溶剤・フィルタ・バッテリーなどの有害物を処分するときは、適用される法規・規則に従ってください。



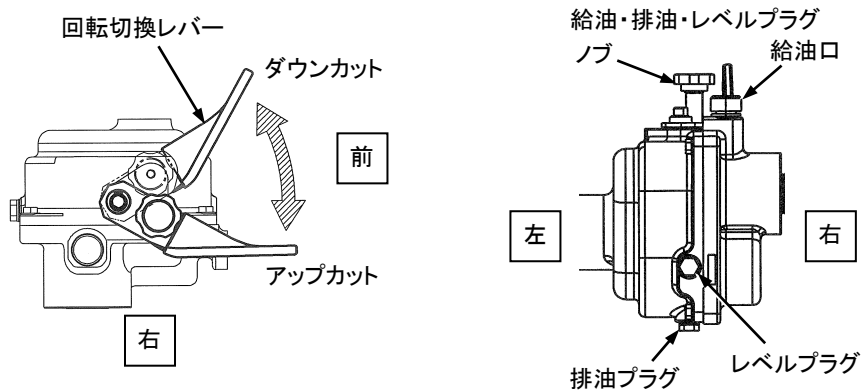
# 各部の名称

## 各部の名称

ZHM1550 と共通の車両各部の名称につきましては、ZHM1550 取扱説明書『取扱編』2-2 頁 をご参照ください。



## 回転切換ギアボックスの説明



# 運転操作

運転操作につきましては本項目と ZHM1550 取扱説明書『取扱編』をご参照ください。

## ■ 刈刃軸回転方向切換え

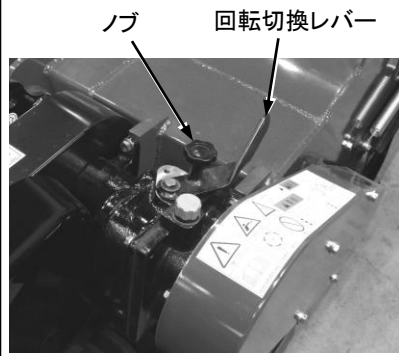
### ⚠ 警告

- ・ 刈刃軸回転方向切換えが十分でない状態で車両や作業機を動かすと、装置の破損につながる恐れがあります。  
回転切換えレバー、ノブは所定の位置でしっかりと固定してください。
- ・ 刈刃軸回転方向切換え作業中は、必ずエンジン、刈刃軸を停止させてください。
- ・ 刈刃軸は刈刃クラッチレバーを「切」にしてもすぐには止まりません。  
完全に停止するまで作業機内に手や物を入れたりしないでください。

### ⚠ 注意

- ・ 回転切換えギアボックスとその周囲は大変高温になります。回転方向を切換える場合はエンジンを停止し、しばらく経ってから手袋などを着用のうえ、実施してください。

回転切換えギアボックス



- ① 車両を地盤のしっかりした平坦な場所で停車させます。(ZHM1550 取扱説明書 2-44 「停車・駐車」参照)
- ② エンジンを停止します。(ZHM1550 取扱説明書 2-45 「エンジンの停止」参照)
- ③ 刈刃クラッチレバーを「切」にして刈刃軸が停止するまで待ちます。(刈刃軸は約 3 分程度で停止します。作業機の揺れがなくなり、完全に停止したことを確認してください。)
- ④ 回転切換えレバーのノブを取り外します。(ノブを落下・紛失しないようご注意ください。)
- ⑤ 回転切換えレバーの位置を任意の回転方向位置にセットします。(レバーが引っ掛かり、切換らない場合は左右にレバーを軽く振ってください。)
- ⑥ 回転切換えレバーのノブを締付け、レバーを確実に固定します。

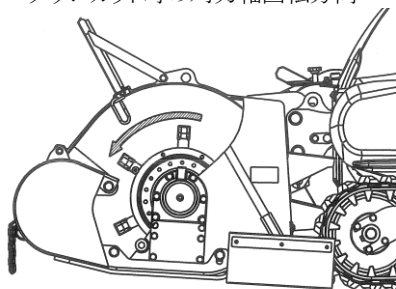


ダウンカット(刈刃軸逆回転)

回転切換レバー位置



ダウンカット時の刈刃軸回転方向

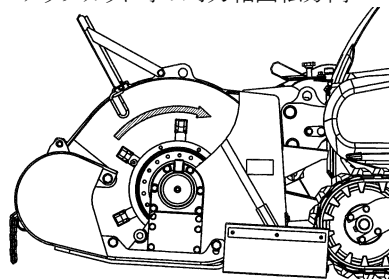


アップカット(刈刃軸正回転)

回転切換レバー位置



アップカット時の刈刃軸回転方向



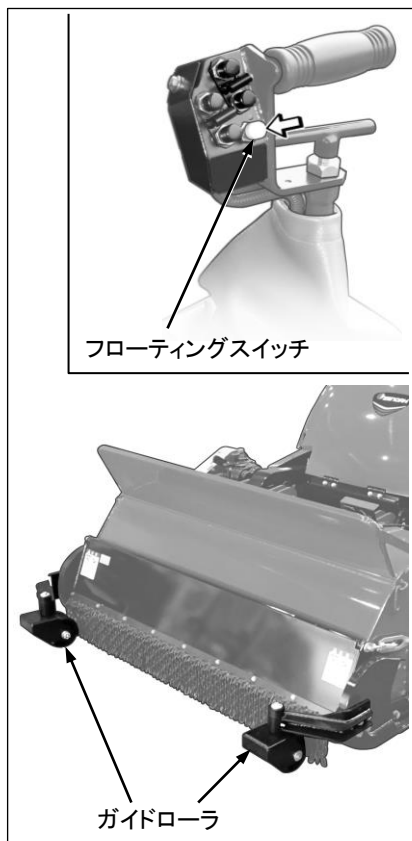
## ■ フローティング操作

### ⚠ 警告

フローティングスイッチを操作する時は、作業機が完全に下がっていることを確認してから操作してください。

### ⚠ 注意

フローティングスイッチを「入」の状態、作業機昇降スイッチを「上げ」にした場合、作業機は上がりますが、作業機昇降スイッチから指を離してもフローティングの状態には戻りませんので注意してください。



フローティングスイッチを入れると油圧フローティング機構が作動し、作業機の上昇・下降が地面の凹凸に沿って自動的に作動します。

- 「ON」：油圧フローティング機構が作動します。
- 「OFF」：作業機昇降スイッチで設定した高さが保持されます。

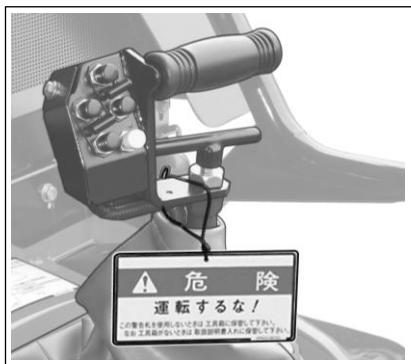
## 整備上の注意

### ⚠ 警告

本書と ZHM1550 取扱説明書に記載されている点検・整備作業以外行わないでください。

### ⚠ 注意

点検整備作業は、足場のよい平坦な場所で車両を水平にして行ってください。



点検・整備作業時（特にオイルをドレンする場合）は、他の人が誤って始動するのを防ぐため、必ず走行レバーに警告札を掛けて点検・整備作業中であることを示してください。

### ● サービスメータの確認

毎日、点検・整備が必要な整備項目がないかサービスメータで確認してください。

### ● 交換部品

交換部品は、必ず当社純正品または指定品をご使用ください。

### ● 使用オイル

使用オイルは、本書に記載の指定品をご使用ください。（15 頁参照）

### ● オイルは清浄なものを

オイルなどは清浄なものを使用し、容器もきれいなものを使用してゴミの混入を防いでください。

### ● 車両をきれいに

車両をきれいに洗浄して不具合部分を発見しやすくしてください。

特にグリースフィッティング、オイルレベルポート部（オイル点検窓）はきれいにし、ゴミの混入を避けてください。

### ● オイルの温度に注意

エンジン停止直後の排油、交換は高温・高圧になっており危険ですので、温度が下がるのを待ってから行ってください。また、オイルが冷えているときの排油は逆に油温を適当に暖めて（約 20～40℃）行ってください。

● **ゴミの混入に注意**

オイルを点検・交換するときは、ゴミの混入を防ぐためにほこりのたたないところで行ってください。

● **注意事項を守る**

車両に貼付してある警告ラベルの内容を守って作業してください。

● **火気に注意**

部品の洗浄は不燃性の洗浄剤か軽油で行ってください。  
軽油を使用する場合は火気を近づけないでください。

● **ポケットの中身を落とさない**

カバーを開けて下向きで点検・整備するときは、内部に物を落とさないように作業服のポケットの中身は取り出しておいてください。

● **作業前後の確認・点検**

雨中・海浜作業のときは、作業前に各プラグなどの締まりを確認し、作業後には洗車して各部の亀裂、損傷、ボルト・ナットのゆるみ、脱落がないか点検してください。

● **オイルは混用しない**

メーカーの異なるオイルの混用は絶対にしないでください。  
異なるオイルを補給する場合は、全量交換してください。

## 整備の基本的内容

### ■ 補給・交換品の概要

#### ● オイル

- オイルは、作業機器等の非常に過酷な条件下（高温・高圧）で使用されており、稼働時間とともに劣化が進行します。  
本書に記載されているグレード、使用温度に合ったオイルを必ず使用し、たとえオイルが汚れていなくても、定められた時間で必ず交換してください。
- 補給時にメーカー・グレード・銘柄の異なるオイルの混用は絶対にしないでください。
- オイルは多過ぎても、少な過ぎてもトラブルの原因となります。  
必ず規定量を注入してください。
- オイルを給油および保管する際は、不純物が混入しないよう十分注意してください。
- オイルが濁った場合、水や空気がギアボックスに侵入しているなど、オイルによる機械トラブルの大半は不純物（水・金属粉・ゴミ等）の混入に起因しています。

#### ● オイルの貯蔵および保管

- オイルは、水分やゴミなどの不純物が混入しないように屋内に貯蔵および保管してください。
- ドラム缶で長期保管する場合は、ドラム缶の口が横一直線になるように横置きに並べてください。（湿気の吹き込み防止）  
やむを得ず屋外に保管する場合は、防水シートで覆うなどの注意を払ってください。

## 補給油の種別

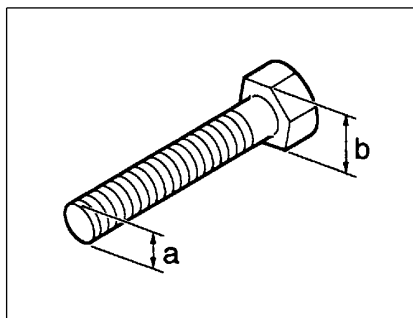
### ■ 工場出荷時

工場出荷時のオイルの種別は、特に指定がない場合は下表の通りです。

項目	種別	油量(cc)
回転切換ギアボックス	ギヤオイル:SAE#90	300

## トルク一覧表

特別な表示がないメートルネジのボルトおよびナットは、表に示すトルクで締付けてください。



ボルト、ナットの二面幅 (b) で適切な締付けトルクを決定します。

ボルト、ナットの交換が必要になったときは、必ず交換前と同じサイズの純正品を使用してください。

### 重要

パネル板など、各締付部が樹脂で構成されている場合、過大なトルクで締付けると、締付け部が破損します。十分注意して締付けてください。

ネジ部外径 (a) (mm)	二面幅 (b) (mm)	締付トルク N・m {kgf・m}	
		基準値	許容範囲
6	10	13.2 {1.35}	11.8~14.7 {1.2~1.5}
8	12・13	31 {3.2}	27~34 {2.8~3.5}
10	14・17	66 {6.7}	59~74 {6.0~7.5}
12	19	113 {11.5}	98~123 {10.0~12.5}
14	22	172 {17.5}	153~190 {15.5~19.5}
16	24	260 {26.5}	235~285 {23.5~29.5}

# 点検整備一覧表

## 定期点検

下表は ZHM1550RR 固有の点検整備項目です。ZHM1550 取扱説明書の点検整備項目に追加する形で実施してください。(ZHM1550 取扱説明書 3-14 「定期点検」参照) サービスメータの積算時間を確認し、必要な整備時間に達している点検整備項目があれば『点検・整備要領』を参照して点検・整備を行ってください。

また、定期的にメーカ指定整備工場で年 2 回の点検・整備を受けてください。

ただし、整備時間に達していない場合でも不具合があれば点検・整備を行ってください。

点検整備間隔	点検整備項目		実施者		参照頁
			使用者	整備工場	
仕業点検	作業機 装 置	回転切換ギアボックスのオイル漏れ 点検・補給	○		18・19
		Vベルトの損傷点検・交換	○		21・22・23・24
		Vベルトの張り点検・調整	○		22・23・24
50時間ごと	作業機 装 置・ ステップ下	ガード・カバー類の損傷点検・交換	○		25
		ガイドローラ	○		
250時間ごと	作業機 装 置	回転切換ギアボックスのオイル交換	○		18・20
	ガイド ローラ	ガイドローラキャスター給脂	○		

## 新車点検

新車の初回 50 時間整備時は、それぞれの時間の定期点検整備項目と合わせ、下記の点検・整備を行ってください。

### ■ 初めの 50 時間目での点検整備

点検整備項目		実施者		参照頁
		使用者	整備工場	
作業機装 置	回転切換ギアボックスのオイル交換	○		18・20
フローティング機構	ガイドローラ軸給脂	○		

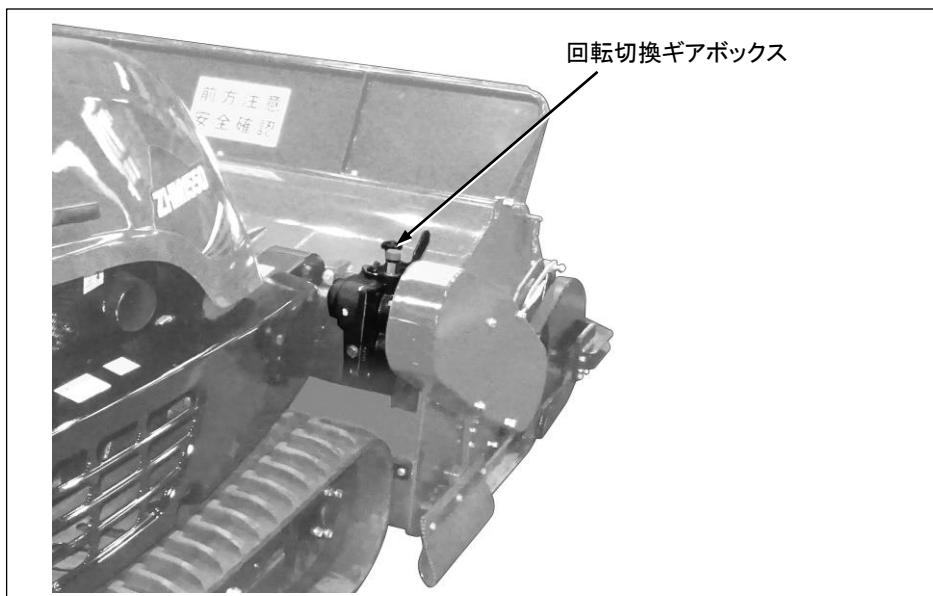
## ギヤオイルの点検・整備

### ⚠ 警告

- ・必ずエンジンを停止してください。また、エンジン停止直後はギヤオイルや各部が高温になっていますので、点検・整備作業は各部が完全に冷えてから行ってください。
- ・排油は、適用される法規、規則に従って処理してください。  
排油を溝や空き地などに絶対に捨てないでください。

### ⚠ 注意

- ・点検・整備作業を行うために開けたり、外したりした部品は作業終了後、必ずもとに戻してください。
- ・交換部品は、必ず当社純正品または指定品をご使用ください。
- ・使用オイルは、本書に記載の指定品をご使用ください。
- ・メーカー・グレード・銘柄の異なるオイルの混用は絶対にしないでください。  
異なるオイルを補給する場合は、全量交換してください。
- ・補給・交換時に、不純物(水、金属粉、ゴミ等)が混入しないようにしてください。



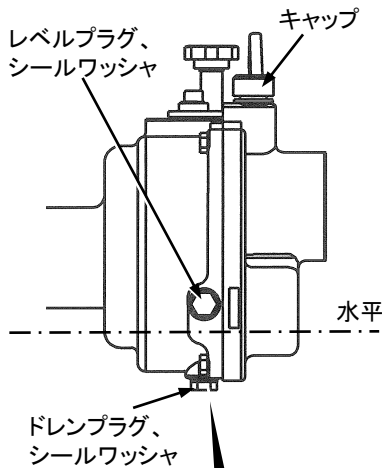
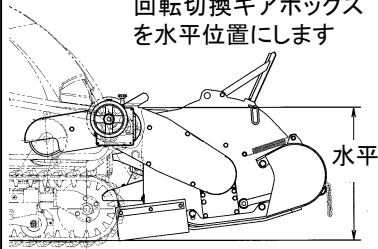
項目	時期	内容
ギヤオイルの交換	250時間ごと	ギヤオイル全量交換



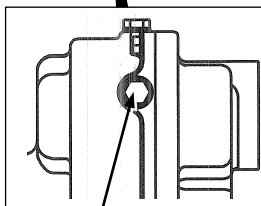
## ■ ギヤオイルの油量点検・補給

## 点検・補給姿勢

回転切換ギアボックス  
を水平位置にします



ドレンプラグ、  
シールワッシャ



ドレンプラグ、  
シールワッシャ

**重要**

- ・給油口のキャップは、ゆっくり回して内圧を逃がしてから外してください。オイルが吹き出す恐れがあります。
- ・オイルを入れ過ぎた場合は、ドレンプラグ、シールワッシャを外して余分な量を抜いてください。また、汚れや変色が著しい場合は交換してください。(20 頁参照)

- ① 作業機高さを調整し、回転切換ギアボックスを水平位置にします。

(刈高セットの目安：12.5cm)

- ③ 回転切換ギアボックスのレベルプラグ、シールワッシャを取り外し、オイルレベルがレベルプラグの穴の位置にあるか、汚れがないかを点検します。

- ④ 不足している（油面がレベルプラグの穴下面にない）場合は、給油口のキャップを外して給油します。

補給オイル：ギヤオイル SAE#90

**補足**

- ・現在入っているオイルとメーカー・グレード・銘柄が同じオイルを給油してください。
- ・レベルプラグの穴で油量を確認しながら行ってください。

- ⑤ 給油後、キャップを確実に締め付けます。

- ⑥ レベルプラグ、シールワッシャを取り付けます。

**締付トルク**

55～68N・m {5.6～6.9kgf・m}

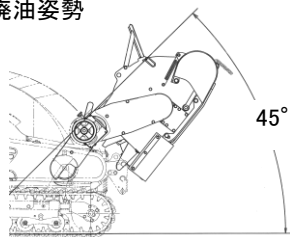
## ■ギヤオイルの交換

### ⚠ 注意

排油を点検し、多量の金属粉、異物がある場合は、当社または当社販売サービス店に連絡してください。

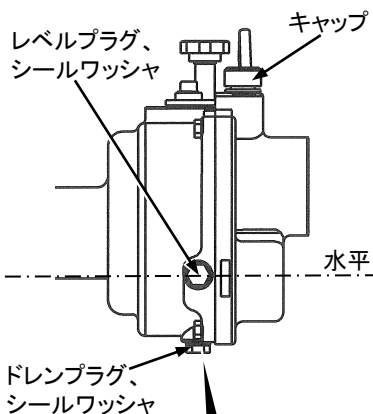
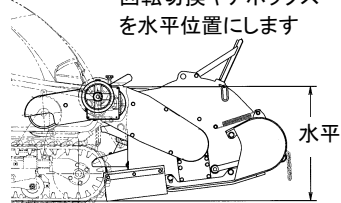
用意するもの：受け容器(300cc 以上)・ウエス

廃油姿勢

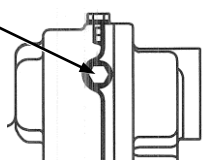


給油姿勢

回転切換ギアボックスを水平位置にします



ドレンプラグ、シールワッシャ



### 重要

給油口のキャップは、ゆっくり回して内圧を逃がしてから外してください。

オイルが吹き出す恐れがあります。

- ① 駐車ブレーキレバーを「ロック」位置にしてから作業機を上げて約 45 度にセットし、エンジンを停止してしばらく放置します。(8 頁参照)
- ② ドレンプラグの下に受け容器を置き、回転切換ギアボックスの給油口キャップを外します。
- ③ オイルをかぶらないようにゆっくりドレンプラグをゆるめ、回転切換ギアボックス内のオイルを排油します。
- ④ 排出後、回転切換ギアボックス底面に付着したオイルをウエスでふき取り、ドレンプラグ、シールワッシャを取り付けます。

### 締付トルク

55~68N・m {5.6~6.9kgf・m}

- ⑤ 作業機高さを調整して、回転切換ギアボックスを水平位置にします。  
(刈高セットの目安：12.5cm)
- ⑥ レベルプラグ、シールワッシャを外してギヤオイルをレベルプラグの穴下面まで給油します。

交換オイル：ギヤオイル SAE#90  
(規定量 300cc)

- ⑦ 給油後、キャップを確実に締め付けます。
- ⑧ レベルプラグ、シールワッシャを取り付けます。

### 締付トルク

55~68N・m {5.6~6.9kgf・m}

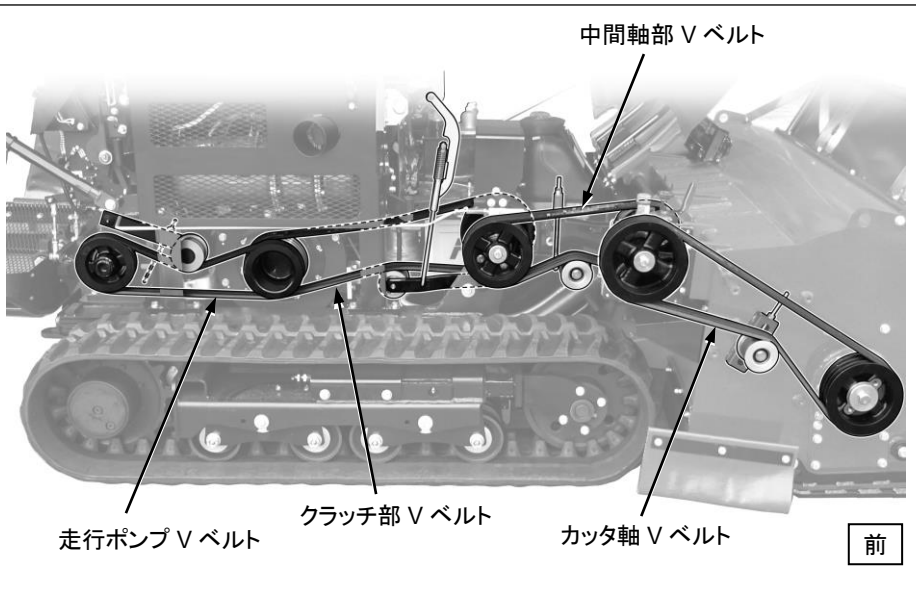
## Vベルトの点検・整備

### ⚠ 警告

必ずエンジンを停止させてから行ってください。

### ⚠ 注意

- ・点検・整備作業を行うために開けたり、外したりした部品は作業終了後、必ずもとに戻してください。
- ・張り点検と同時に各プーリの破損、V溝の摩耗、Vベルトの摩耗を点検してください。特にVベルトがV溝の底に当たっていないかよく確認してください。
- ・ベルトが伸びて調整シロがなくなったり、切り傷や亀裂がある場合は、当社販売サービス店に交換を依頼してください。  
また、ベルトを交換する場合は、使用本数をセットで同時に交換してください。

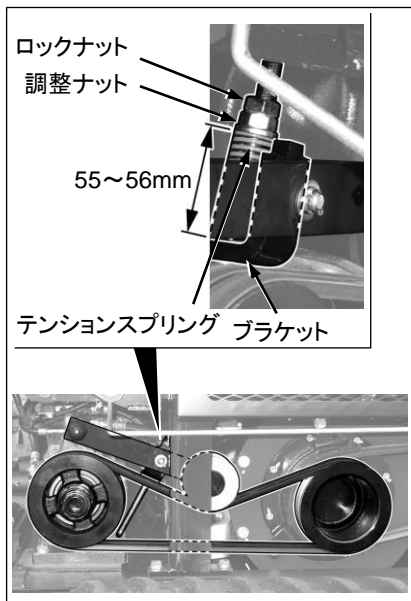


ベルト名称	規格	本数
走行ポンプVベルト	バンドー:W800, SB-54 または、三ツ星:S-GOLD, LB-54	2
クラッチ部Vベルト	バンドー:W600, SB-68 または、三ツ星:N-2, LB-68	3
中間軸部Vベルト	バンドー:W600, SB-52 または、三ツ星:N-2, LB-52	3
カッタ軸部Vベルト	バンドー:W600, SB-70 または、三ツ星:N-2, LB-70	3

項目	時期	内容
Vベルトの損傷点検・交換	仕業	各Vベルト・プーリの損傷・摩耗確認
Vベルトの張り点検・調整		各Vベルトのテンション確認、適正テンションに調整
刈刃クラッチの点検・調整		プーリカバーとベルトの隙間確認、適正位置に調整

## ■ Vベルトの張り点検・調整・交換

### ● 走行ポンプ V ベルト



① トップカバーを開け、右サイドカバーを外します。

(ZHM1550 取扱説明書 2-26・30 頁参照)

② 刈刃クラッチを「切」の位置にします。

③ テンションスプリングのナット側先端がブラケット先端と同じ位置にあるか点検します。

**適正值** 55~56mm

④ ロックナットをゆるめ、調整ナットでスプリングの長さを調整します。

張りを強める場合：時計方向に回す。

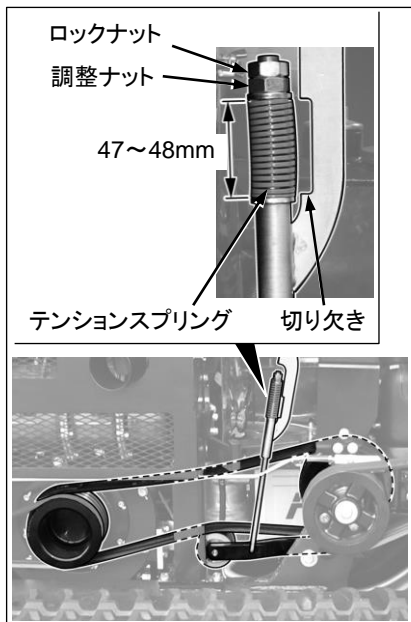
張りを弱める場合：反時計方向に回す。

**補足**

交換する場合は、調整ナットをゆるめてプーリからベルトを外してください。また、当社純正部品をご使用ください。(15 頁参照)

⑤ 調整後、ロックナットを確実に締め付けます。

### ● クラッチ部 V ベルト



① トップカバーを開け、右サイドカバーを外します。

(ZHM1550 取扱説明書 2-26・30 頁参照)

② 刈刃クラッチを「入」の位置にします。

③ テンションスプリングの長さがロッドアーム部の切り欠きと同じであることを点検します。

**適正值** 47~48mm

④ 長さを調整します。

張りを強める場合：時計方向に回す。

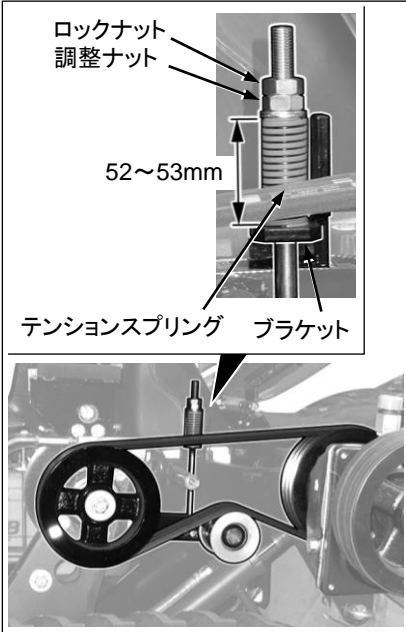
張りを弱める場合：反時計方向に回す。

**補足**

交換する場合は、刈刃クラッチを「切」にして走行ポンプ V ベルトを先に外し、調整ナットをゆるめてプーリからベルトを外してください。また、当社純正部品をご使用ください。(15 頁参照)

⑤ 調整後、ロックナットを確実に締め付け、刈刃クラッチを「切」にします。

## ● 中間軸部 V ベルト



- ① トップカバーを開け、右サイドカバーおよびベルトカバーを外します。  
(ZHM1550 取扱説明書 2-26・30・32 頁参照)

- ② テンションスプリングのナット側先端がブラケット先端と同じ位置にあるか点検します。

**適正值** 52~53mm

- ③ ロックナットをゆるめ、調整ナットでスプリングの長さを調整します。

張りを強める場合: 時計方向に回す。

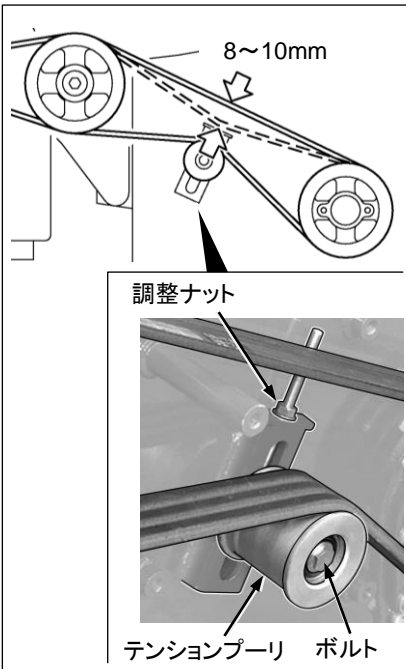
張りを弱める場合: 反時計方向に回す。

**補足**

交換する場合は、調整ナットをゆるめてプーリからベルトを外してください。また、当社純正部品をご使用ください。(15 頁参照)

- ④ 調整後、ロックナットを確実に締め付けます。

## ● カッタ軸部 V ベルト



- ① ベルトカバーを外します。

(ZHM1550 取扱説明書 2-32 頁参照)

- ② ベルトの中央部を指で軽く押して (約 30N) たわみ量を点検します。

**適正值** 8~10mm

- ③ テンションプーリを固定しているボルトをゆるめ、調整ナットでテンションプーリを移動させて調整します。

張りを強める場合: 時計方向に回す。

張りを弱める場合: 反時計方向に回す。

**補足**

交換する場合は、調整ナットをゆるめてプーリからベルトを外してください。また、当社純正部品をご使用ください。(15 頁参照)

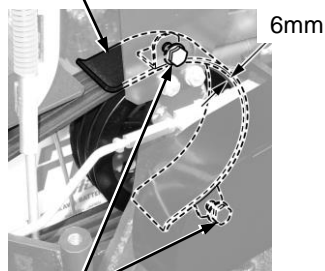
- ④ 調整後、テンションプーリのボルトを確実に締め付けます。

**締付トルク**

78.4~102.9N・m {8.0~10.5kgf・m}

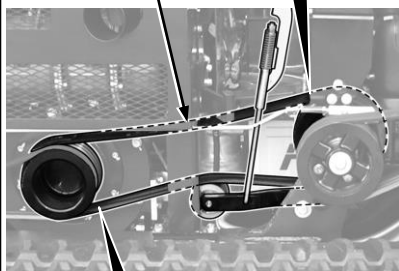
■ 刈刃クラッチの点検・調整

作業機側プーリカバー

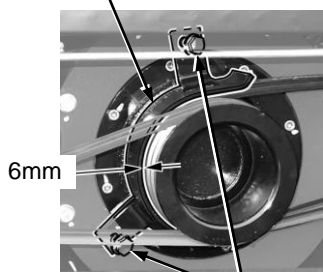


ボルト

クラッチ部 V ベルト



エンジン側プーリカバー



ボルト

**重要**

刈刃クラッチを「入」にした時のベルトのバツツキや「切」にした時のつれ回りは、ベルトの早期摩耗や切損、刈刃軸の回転などが起き、危険です。異常がある場合はプーリカバーの取付位置を調整してください。

- ① 右サイドカバーを外します。  
(ZHM1550 取扱説明書 2-30 頁参照)
- ② 刈刃クラッチを「入」の位置にします。
- ③ クラッチ部 V ベルトとプーリカバー間の隙間を点検します。

**適正值** エンジン側カバー : 6mm  
作業機側カバー : 6mm

- ④ プーリカバーを取り付けているボルト (各 2 本) をゆるめ、適正な隙間に調整します。

**補足**

隙間は全体的に均一になるように調整してください。

- ⑤ 調整後、ボルトを確実に締め付け、クラッチを「切」にします。

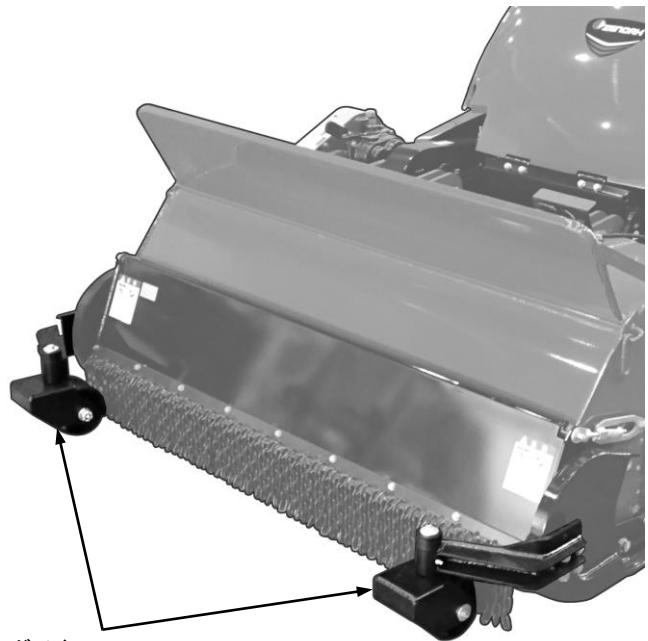
## ガイドローラの点検・整備

### ⚠ 警告

- ・必ずエンジンを停止してください。また、エンジン停止直後はギヤオイルや各部が高温になっていますので、点検・整備作業は各部が完全に冷えてから行ってください。
- ・排油は、適用される法規、規則に従って処理してください。  
排油を溝や空き地などに絶対に捨てないでください。

### ⚠ 注意

- ・点検・整備作業を行うために開けたり、外したりした部品は作業終了後、必ずもとに戻してください。
- ・交換部品は、必ず当社純正品または指定品をご使用ください。
- ・使用オイルは、本書に記載の指定品をご使用ください。
- ・メーカー・グレード・銘柄の異なるオイルの混用は絶対にしないでください。  
異なるオイルを補給する場合は、全量交換してください。
- ・補給・交換時に、不純物(水、金属粉、ゴミ等)が混入しないようにしてください。



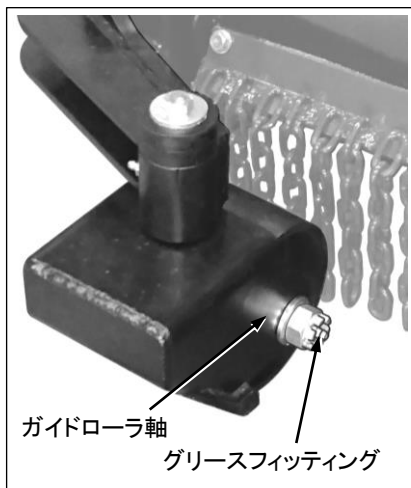
ガイドローラ

項目	時期	内容
ガイドローラ軸給脂	50時間ごと	グリースを給脂
ガイドローラキャスター給脂	250時間ごと	グリースを給脂

## ■ ガイドローラ軸の給脂

### ⚠ 警告

必ず作業機を接地させ、エンジンを停止させてから行ってください。



### 重要

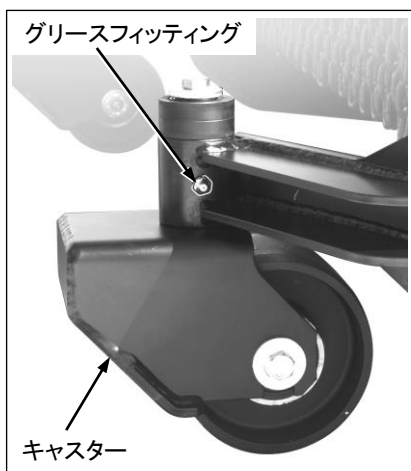
給脂後に押し出された古いグリースはきれいに拭き取ってください。特に砂・ゴミなどが付着して可動部の摩耗を促進するような場合は、入念に拭き取ってください。

グリースガンを使用し、左右 2 箇所 of グリースフィッティングにグリースをさします。

## ■ ガイドローラキャスターの給脂

### ⚠ 警告

必ず作業機を接地させ、エンジンを停止させてから行ってください。



### 重要

給脂後に押し出された古いグリースはきれいに拭き取ってください。特に砂・ゴミなどが付着して可動部の摩耗を促進するような場合は、入念に拭き取ってください。

グリースガンを使用し、左右 8 箇所 of グリースフィッティングにグリースをさします。



## ガード・カバー類の損傷点検・交換

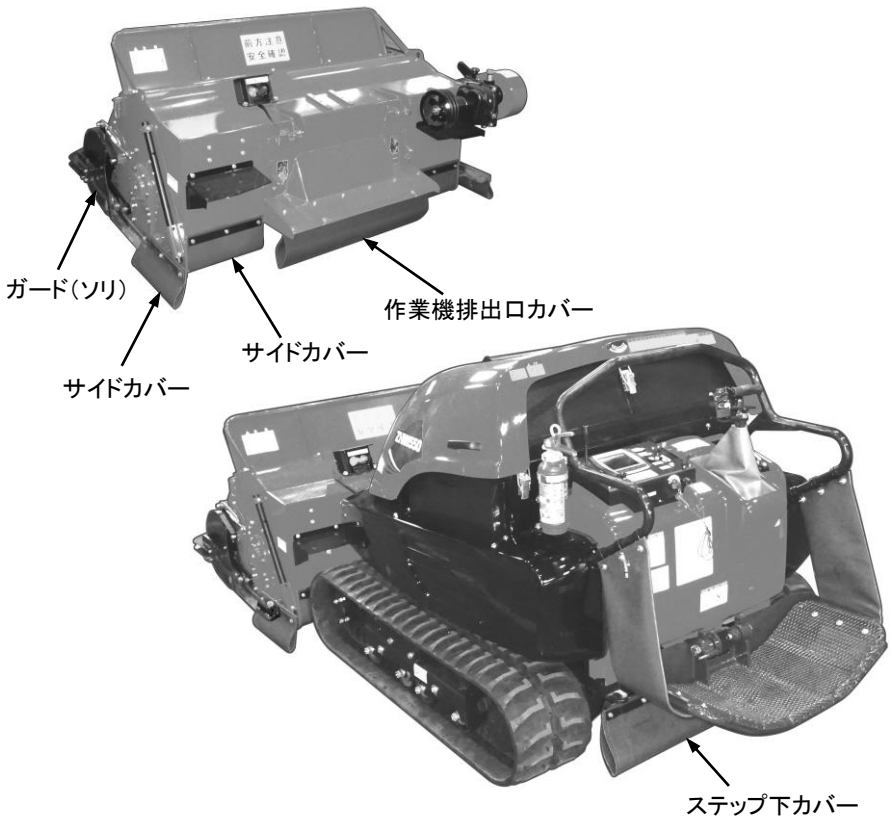
### ⚠ 警告

ガード・カバー類が摩耗・損傷すると石飛等が発生し、作業者や周囲に危険を及ぼすばかりでなく車両の各部損傷の原因となります。

摩耗・損傷した場合は、直ちに運転を停止し点検・交換を行ってください。

### ⚠ 注意

交換部品は、必ず当社純正品または指定品をご使用ください。(15 頁参照)



項目	時期	内容
ガード・カバーの点検・交換	仕業	ガード・カバーの状態を確認、摩耗・損傷があれば交換

# 仕 様

車 両 型 式		単 位	ZHM1550RR
作 業 機 型 式			AF1550RR
機 械 質 量		kg	1670
外 形 寸 法	全 長	mm	3270
	全 幅	mm	1760
	全 高	mm	1355
車 両 本 体 最 低 地 上 高		mm	180
クローラ中心距離		mm	1190
クローラ接地長		mm	1190
履 帯 幅		mm	300
接 地 圧		kPa	23.0
燃 料 タ ン ク 容 量		L	33
最 大 走 行 速 度	前 進	km/h	7.0
	後 進	km/h	5.0
最 小 回 転 半 径		mm	1860
静 的 安 定 度 ( 左 右 )		度	57(注 1)
<b>エンジン</b>			
種 別			水冷ディーゼル
型 式			3TNV88C
総 排 気 量	cm <sup>3</sup>		1.642
定 格 出 力 ( グ ロ ス )	kW(PS)		27.5 (37.4) 3000rpm
<b>走行装置</b>			
種 別			クローラ式
駆 動 方 式			油圧無段変速左右独立駆動方式
履 帯			ゴムクローラ
駐 車 ブ レ ー キ			油圧作動ディスク式
<b>作業機</b>			
種 別			単軸フリーハンマ式
有 効 刈 幅	mm		1525
刃 数	枚		108
刈 刃 軸	駆 動 方 式		V ベルト駆動
	回 転 方 向		アップカット/ダウンカット切換
地 上 高 調 整 範 囲		mm	-125~495
刈 り 高 さ 調 整 範 囲		mm	0~300

(注 1) 作業機下げ姿勢。

単位は国際単位系による SI 単位表示。( )内は従来の単位表示を併記したものです。

# 付属品

ZHM1550RR/AF1550RR 用

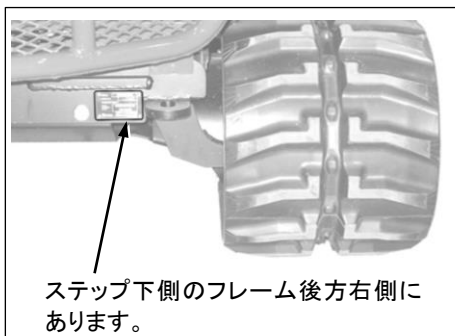
No.	品名	数量	品番
1	取扱説明書	1	115807379
2	保証書	1	

## サービスについて

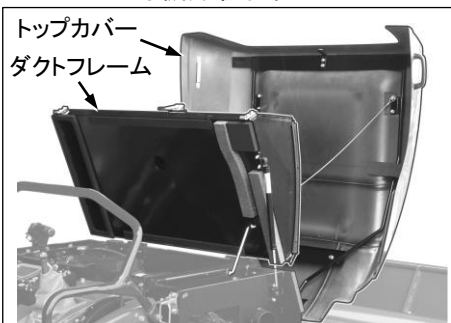
万一故障した場合やご不明な点およびサービスに関するお問い合わせ、部品などのご用命は、お買いあげいただいた当社販売サービス店にご連絡ください。

その際、「車両号機」と「エンジン号機」および「サービスメータの稼動積算時間」を併せてお知らせください。

### ●車両号機銘板位置

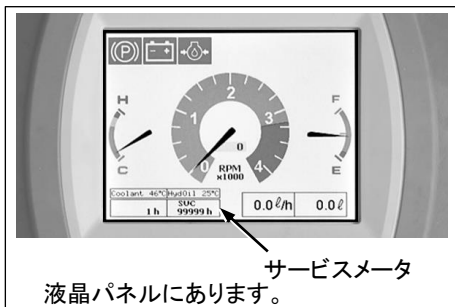


### ●エンジン号機銘板位置



トップカバーおよびダクトフレームを開けます。

### ●サービスメータの位置

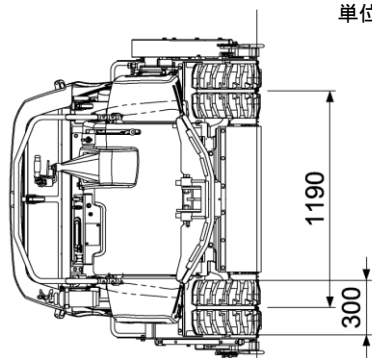
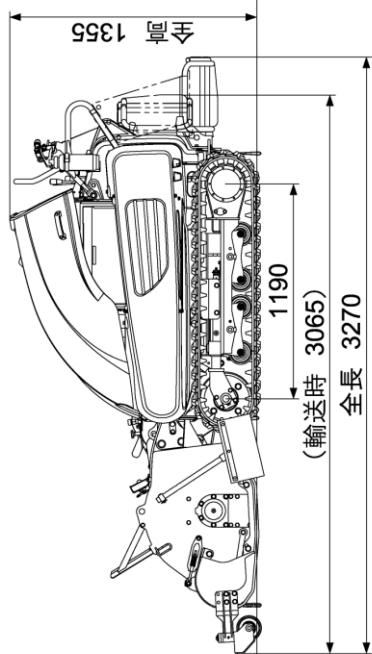
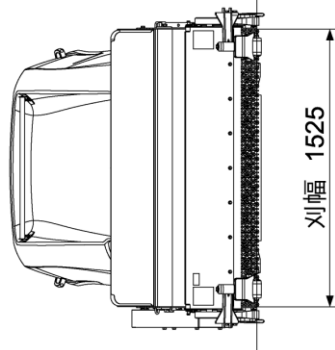
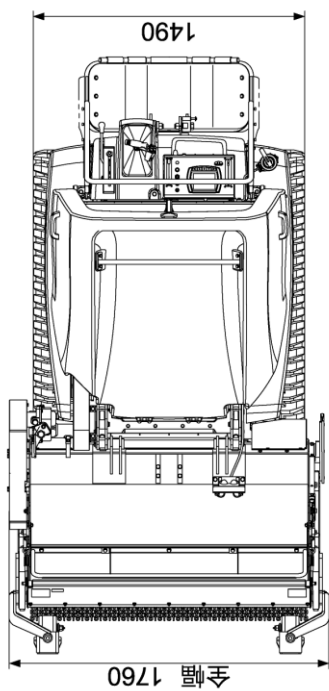


### ●問い合わせメモ

車両号機	エンジン号機
サービス店名	電話
住所	サービス担当

# 外觀圖

單位: mm







修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は  
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

## 製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



**0570-084987**

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

**<http://www.zenoah.co.jp/>**

# ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9